

横浜市行政運営調整局長に 市長あての意見書を提出しました

平成19年12月10日、横浜市役所において、山岸委員長から大場行政運営調整局長に「若葉台地区小中学校跡地活用について」の横浜市長への意見書を提出いたしました。

意見書の提出にあたって、山岸委員長から検討の経過及び3校活用コンセプトなどの説明があり、大場局長からは、意見書とりまとめに対する若葉台地域の方々への感謝とこれからも可能な限り地域の声に応えていきたい旨の発言がありました。この意見書の提出を受け、行政関係局は跡地活用についての具体的、詳細な検討を進めることとなります。



第11回検討委員会の概要

- 日時：11月30日（金）
場所：若葉台中学校Eホール
議題：1 委員長あいさつ
2 第10回検討委員会議事内容について
3 住民説明会の開催状況について
4 意見書について
5 その他

第11回検討委員会における意見書の最終確認について

第11回検討委員会においては、10月中旬から地域において開催された住民説明会でのご意見を確認したうえで、意見書の最終確認を行いました。

意見書の内容は、検討委員会ニュース第10号に住民説明会資料として掲載し、住民説明会において配布した資料とほぼ同内容となりました。住民説明会資料からの主な変更は次のとおりです。

・民具等保管展示について

当初、旧若葉台東小学校の付帯施設として記載していたが、スペースの関係から明らかに設置が難しいと考えられるため、旧若葉台西中学校の付帯施設欄へ変更する。

・（仮称）跡地活用調整委員会の設置

意見書提出後、横浜市と協働し、さらなる具体的、詳細な検討を行うため、「（仮称）跡地活用調整委員会」を設ける。

意見書全文は旭区役所ホームページに掲載しております。

旭区役所ホームページ (<http://www.city.yokohama.jp/me/asahi/>) から

→【まちづくり】 →【若葉台地区小中学校跡地の活用・検討】 とお進みください。

各自治会単位および地域全体を対象にして 検討結果についての住民説明会を9回開催いたしました

10月20日、第一・東・二丁目南自治会が合同で開催したのを皮切りに、11月25日に地域全体を対象にした会まで、全9回の住民説明会を開催し、延べ168名に参加いただきました。

最終回の説明会においては行政担当部局からの参加も得て、各自治会から出された質問について回答をいただきました。

ここに説明会の概要とともに横浜市への質問と回答を掲載します。



住民説明会の様子（旧西小体育館、11/25）

住民説明会の概要

自治会	実施日時	会場	参加人数
第一	10月20日（土）10:00	旧東小体育館	38 （合同開催）
東	10月20日（土）10:00	旧東小体育館	
二丁目南	10月20日（土）10:00	旧東小体育館	
中央	10月21日（日）10:00	しらかし集会所	19
西	10月27日（土）10:00	やまもも集会所	12
あかね	11月3日（土）18:30	すだち集会所	13
もみじ	11月3日（土）19:00	あけぼの集会所	14
とちのき	11月10日（土）10:00	とちのき集会所	12
北	11月11日（日）10:00	けやき集会所	10
ゆりのき	11月11日（日）13:30	ゆりのき集会所	14
連合	11月25日（日）10:00	旧西小学校体育館	36

住民からの質問と横浜市による回答

【旧若葉台西小学校について】

○公募事業への応募がなかった場合はどうするのか？

（回答）これから公募実施の手続きを進める段階であり、現時点で応募がないということは想定していません。仮に応募事業者がいなかった場合は、応募条件の見直し等の対応が必要となります。

○付帯施設は本当に実現できるのか？

（回答）すべて実現することは物理的にも難しいと考えますが、地域からいただいているご意見ご要望を示し、民間事業者の提案を促していきます。

○付帯施設が旧西小で実現できない場合、旧西中では実現できないか？

（回答）旧西中学校の「スポーツ・文化」というコンセプトに沿ったものであれば検討可能です。

○一校すべてを一事業者に任せるより、複数の事業者に分割した方が地域にとって有効ではないか？

(回答) 複数の事業者となると運営に関してさまざまな問題が生じる可能性があるため、まずは一事業者でと考えています。一事業者が複数の事業メニューを展開することは検討事項としています。

○都市計画変更のプロセスはどのようなのか？

(回答) 現在の都市計画では小学校という位置づけであり、都市計画の変更が必要となります。まず事業者から提案をいただき、審査が通って用途が確定した後に都市計画変更の手続きとなります。その後は簡単には用途変更できません。

○施設例として民間病院や私立学校が挙げられているが、手続きがこれからとは遅いのではないか？

(回答) 地域として学校の土地をどうしたいのか意見を出さない限り行政は動けない状況でした。12月に意見書を出した時点が本当のスタートとなります。(委員長)

【旧若葉台東小学校について】

○特別支援学校の移転先がなぜ若葉台なのか？

(回答) 現在の新治特別支援学校から直線距離で2km程という近距離で通学圏内です。また旧若葉台東小は通路の幅が十分にあり段差が少ないことも主な理由です。

○特別支援学校の移転および開校はいつか？

(回答) 確定していませんが、最短のスケジュールだと平成22年度中には開校となります。

【旧若葉台西中学校について】

○現在の地域防災拠点はどうなるのか？

(回答) 旧若葉台東小学校に関しては継続されます。旧若葉台西小学校の拠点は旧若葉台西中学校へと移転する方向で検討しています。

○地域防災拠点の移転時期、備品の移動、防災訓練を行う場所等はどのようなのか？

(回答) 公募事業の進捗にもよりますが、少なくとも平成20年度は現状のままです。防災倉庫に入っている備品類は地域防災拠点の移転後の移動となります。住民が混乱しないよう、移転等が決定したら極力早い段階で周知していきます。

○地域防災拠点に工作室があると良いと思うが可能か？

(回答) 移転時期等が決定した後、地域の方々と検討していきます。

○立地上、旧若葉台西小学校よりも旧若葉台西中学校の方が高い位置にある上通路も狭い。避難時に問題があるのではないか？

(回答) 段差の解消等も含め移転時にあわせて検討していきます。

今回をもって本検討委員会は終了しました

「若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会」は意見書の提出をもってその役割を終了しました。今後、具体的、詳細な検討を進めるにあたっては、仮称「跡地活用調整委員会」を設け、地域としても横浜市と協働し、十分な協力をしていきたいと考えております。

なお、現時点で横浜市が想定している今後のスケジュールは以下の通りです。

横浜市が想定する今後のスケジュール

施設 年度	旧若葉台東小学校 ＜横浜市立特別支援学校＞	旧若葉台西小学校 ＜公募事業で決定＞	旧若葉台西中学校 ＜横浜開港150周年記念 イベント関連会場（暫定）＞
平成19年度		準備・調整	市民参加メンバーの公募 1月19日オープニング 〔（仮）入学式〕
平成20年度	設計	募集要項の配付 （公募事業者の募集） 事業者の決定	会議・研修（ワークショップ） 会場として利用
都市計画の変更手続き			
平成21年度	工事		＜ヒルサイドステージ＞ （7月～9月） 会期終了に近づき利用収束
平成22年度	移転開校		

*上記スケジュールは現時点で想定されるものであり、事業の進捗状況等により変更される場合があります。

■本検討委員会の経過は旭区役所ホームページでもご覧いただけます。

旭区役所ホームページ (<http://www.city.yokohama.jp/me/asahi/>) から
→【まちづくり】 →【若葉台地区小中学校跡地の活用・検討】 とお進みください。

■本検討委員会の検討結果についてご質問のある方は、ファクスもしくはEメールで、下記事務局までお寄せください。

【若葉台地区小中学校跡地活用検討委員会事務局】

旭区役所区政推進課企画調整係

ファクス：951-3401

Eメール：as-kikaku@city.yokohama.jp

電話：954-6027